

もりのにぎわい通信

2012年4月28日 定例活動報告

日時：2012年4月28日（土）9：00～15：30

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 18～23℃ 湿度 61% 風向 東 風速 3m

参加者：参加者 35人：子供 16人、大人 19人（小山町・土地改良区 3人）

■ 活動

9：00 除草作業開始

9：45 受付会員カードにシールを貼る

10：00 集合

新規会員に活動地を案内する（山菜採り）

10：30 休憩

10：45 刈払機講習とソラマメ畑の草取り

除草作業再開

12：30 昼食（山野草の天麩羅とお吸い物）

13：30 ティピの中に敷くスノコ製作

15：00 後片付け

15：30 解散

■ 活動報告

このところ毎日雨が続いていましたが、ゴールデンウィークの初日、この空を見ているだけで幸せな気持ちになります。大椎・板倉土地区画整理組合の新理事さんの橋本さん、篠崎さんと打ち合わせを行ない、お二人とも森・植林・農業ともプロであり、様々なアドバイスを頂くと共にこの土地は村田川に流れ込む水源涵養林となるべき土地であり、協働して水源涵養林に育てて行きましようというご挨拶を頂きました。

今回初参加（新規会員）の植松さん、落石さん、橋爪さんご一家と参加者を植林して4年が経った活動地を案内する。てんぶらの材料にする山菜（ワラビ、ハリギリなど）を採りながらでした。

前回に引き続き刈払機の講習を実施。今回は、講師を橋本さん・篠崎さんをお願いし、初体験組では植松さん・星野（夫人）、二回目組では金井・星野・金井（息子）が講習に参加しました。おっかなびっくり、平地での簡単な刈り払いにトライしました。事故がおこらないように徹底的に気をつけなければいけないが、文明の利器はうまく使っていきたいと思います。

一方、もともと苗木の周辺や畑の中など刈払機が使えないところは人間系でやるしかありません。今回は特に畑の雑草取りを、子供たちにも手伝ってもらい行いました。大量の雑草を古木さんが何度も一輪車で運んでいました。（実は古木さんは既に熟練の刈払機マンなのだが、今回の講習で機械

の台数不足で人間系の仕事に回ってもらいました) 雑草が生え過ぎて単純に一面緑だったソラマメ畑が、畝の間がきれいに見えるようになって見違えるような立派な畑に戻りました。ソラマメの花も派手さはないが、清楚で美しく感動ものでした。ソラ豆がなって食べられる日が待ち遠しいものです。

お昼は山菜のお吸い物と天麩羅。お吸い物は、筍・ワラビ・お豆腐・木の芽の吸い物で、塩味の筍が新鮮でした。天麩羅は、ワラビ・筍・サツマイモ・ヤマウド・タラノメ・シイタケ・春タマネギとサクラエビのかき揚げで春の味そのものでした。こういった幸せを将来にわたって残していくには、今回の原発事故のようなことが二度とおこらないようにしなければならないでしょう。幸いにしてこの辺は大丈夫なようですが、広い範囲にホットスポットができていようでもあり、これからもウォッチを続けていきます。

午後からは、中桐さんの指導でティピの中にしくスノコ製作に入りました。

スノコ作成について

今回初めて参加するお父さんもいらっしゃいましたが、皆さん日頃 DIY には慣れた様子の方々ばかりで、短時間ながら効率良く作ることができました。

大・小ティピの床用と地元の方々が休憩される際に座れる、欲張って併用で使えるスノコと思い 1.5m×1.5m のサイズを 2 枚作成しました。

途中何を作っているか気になって寄って来た子供たち。女の子ばかりでしたが一緒に釘打ちを手伝ってくれました。今後ツリーハウスの机やイスなど、いろいろ仕上げていく予定です。

(記録：中桐友哉)

これでティピの中に子供達をより惹きつけられることを願いますが、大人の休憩用スペースにも使えるので借用したいと思います。

皆さんお疲れ様でした。次回はいよいよグリーンウェイブと自然観察会です。地球をイメージしながら参加しましょう。いわゆるグローカルってやつで、思考はグローバルに、行動はローカルで実行していきましょう。

(記録：金井章男)

■ 森もりあそび隊

新年度スタート～森さんさく

春らしいぽかぽか陽気となった新年度はじめての活動日。新メンバー 3 家族の参加があり、小山の森をよくしつてもらおうと当日参加の親子で森案内兼ねた散策をしました。

森の木々の芽吹き、新緑の美しさを感じながら・・・とんぼやもんしろちょうが飛び交い、まだ土の中から目を覚ましたばかりなのか茶色いあまがえるをたくさん見かけました。久しぶりにしっかり植樹した木々をみると久しぶりに会った友人の子どもに会うような感覚で“こんなに大きくなって・・・”としみじみ感じました。

お昼に山菜を天ぷらにして春の味覚を味わうことになっていたこともあり、散策の途中でみんなでわらびをとりました。その際、6年生の男の子が“これが原始時代にたべられていたわらびか・・・”との発言。つい最近学校で習ったらしい。しっかり先生の話聞いててえらいなあと感心しながらわらびはそんな昔からあったんだとびっくり。

土気にも土器が見つかるからその時代のひとは食べていたかもしれないなあ～と・・・

わらびはあくが強いから今はすぐにおいしく食べれる天ぷらにしますが、昔は食べるの大変だったことと思います。

子どもの遊び

昨年度中に完成したツリーハウスとブランコ、昔から常に人気の池と秘密基地、金属ポールのパーゴラにとりつけたハンモック・・・それぞれこどもたちは思い思いの場所で移動しながら遊んでいました。2歳の女の子には中桐さんが作成した木製のパチンコが楽しかった様子。

池ではあめんぼを観察容器にたくさんいれている男の子がいたり、長い棒を集めて戦いごっこをしたり、秘密基地はまた穴が深く掘り進められていました。スコップはフル活動。ブランコは二人乗りしたりハイジのように高くこいだり、ハンモックには2~3人乗ってみのむしのようにくるまったりして遊んでいました。みんな泥んこになるまでたっぷり遊びました。

最近の森ではうぐいすの鳴き声がよく聞こえていて活動日も楽しみにしていましたがあまり聞こえずどうしたのかと思ったら・・・みんなが帰り始めたころにようやく安心してらしく鳴き始めたとのこと・・・そうとう騒がしかったかな。 (記録：和田みさ子)

.....

■ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例活動は、5月26日(土)(雨天5月27日(日))です。グリーンウェイブ2012に参加して被爆アオギリの植樹をします。また、県環境学習アドバイザーの鈴木優子先生と一緒に森を歩こう(自然観察会)を行ないます。畑にサツマイモの苗も植える予定です。

☆田植え体験のお誘い グループ2000と緑の環(森もりあそび隊)の交流活動

5月20日(日)午前10時~午後3時 親子自然体験教室・里山フィールドにおいて
大野台工業団地隣接地(緑区大木戸町1165-6)

詳しくは、後日お知らせします。



標柱と完成したスノコと集合写真



植林したスギの説明



ワラビ採り



刈払機の講習会



エンジンの運転



刈払作業の実地





畑の草取り



ソラマメ花盛り



森のキッチン



山菜のてんぷらを揚げて



青空の下で昼食



初めて参加です



手作りのお弁当おいしそう



スノコ製作に取り掛かる



もう少しで出来上がり